甲府市役所(山梨県)

皆さん、こんにちは。私たちは山梨県甲府市の危機 管理課の平井、そして古澤と申します。「笑顔あふれる まち創りを市民とともに」と題して話をさせていただ きますので、どうぞよろしくお願いいたします。





活動地域の紹介

はじめに甲府市の紹介です。甲府市は、山梨県のほ ぼ中央に位置する県庁所在地で、市域は南北に三日月 型に縦断しています。市街地は甲府盆地の中心にあり まして、市内一円からは南に富士山、北に八ヶ岳、西 に南アルプス連峰を望みます。主な交通のアクセスは、 鉄道は JR 中央本線、JR 身延線があり、道路では中央自 動車道、国道20号、国道52号などがあります。

続きまして、甲府市の概要です。市制の施行は明治 22年7月です。人口は本年9月1日現在で19万2.593 人、世帯数は8万9,410世帯で、面積は212.47km²です。

甲府市(山梨県) ~ 笑顔あふれるまち創いを市民とともに ~ 甲府市危機管理課 平成27年10月24日

全国的な問題である人口減少対策が当市でも大きな課題ですが、平成31年に開府500年を迎えるた めの取り組み、平成39年にはリニア中央新幹線の開業と、未来に向け、創意工夫を凝らした事業を展 開中です。また、平成 31 年には中核市に移行し、市民サービスのさらなる向上を目指しています。写 真にあります市の庁舎は平成25年3月に新築されたばかりです。

甲府市は宝飾産業が盛んであり、国内屈指の渓谷美を誇る昇仙峡や芦川渓谷といった豊かな自然に 恵まれています。また戦国時代の名将、武田信玄公生誕の地であり、毎年4月には県内各地から 1,500 名以上の軍勢が集結し、川中島に向けて出陣する様子を再現する「信玄公祭り」が開催されていて、 この祭りはギネスブックにも登録されています。



甲府市の概要

市制施行 明治22年7月 192,593人 人口 世帯数 89.410世帯 (平成27年9月1日現在) 212.47km²

面積

盛んな産業 ・・・・・・・・・ 宝飾産業

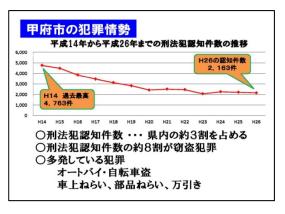
国内屈指の渓谷美 ・・・・・・ 昇仙峡、芦川渓谷

世界最大級の武者行列 ・・・ 信玄公祭り

甲府市の犯罪情勢

平成 26 年の刑法犯認知件数は 2,163 件で、県内 6,528 件の約3割を占めています。刑法犯の認知件数は平成 14 年に過去最高の 4,763 件を記録しましたが、その後は市民と行政が一体となり、安全・安心なまちづくりに取り組んだところ、犯罪は徐々に減少し、平成 20 年以降はピーク時の半数以下にまで犯罪が減少しています。

甲府市内の犯罪傾向について触れますと、刑法犯認 知件数の約8割が窃盗犯罪で、オートバイや自転車の 盗難、車上ねらいや部品ねらい、スーパー等での万引 きといった犯罪が多く発生していますので、これらの 犯罪を中心に防犯活動に取り組んでいます。また、近 年は電話詐欺が増加傾向にありますので、対策が急務 となっています。



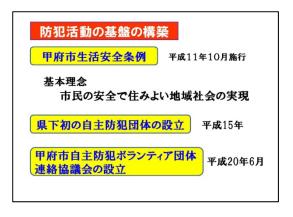
活動(事業)内容・特長

活動の内容は、大きく分けて「防犯活動の基盤の構築」「防犯ボランティア団体への支援」「犯罪防止に配慮した施設等の整備と防犯活動」の3項目です。

はじめの項目は、防犯活動の基盤の構築です。平成に入り犯罪の増加傾向に歯止めがかからないことから、市は防犯活動の基盤を構築するため、市民の安全で住みよい地域社会の実現を基本理念とした、甲府市生活安全条例を平成 11 年 10 月に施行しました。続いて、平成 15 年には県下で初の自主防犯団体が設立され、平成 20 年 6 月には自主防犯ボランティア団体連絡協議会が設立されました。

続いての項目の団体への支援ですが「防犯ボランティア登録制度」「団体補助金制度」「自主防犯ボランティア団体連絡協議会等の開催」「ボランティア団体等への出前講座」「防犯情報等の発信」「地域安全ステーションの設置」の六つの施策に現在、取り組んでいます。





まずは防犯ボランティア登録制度です。これはボランティア活動の活性化を目的に制度を設けています。登録された方には、活動中の不慮の事故を救済し、参加者の方が安心して市民活動を推進できるように補償する、甲府市市民活動補償制度が適用できるようになっています。登録者には腕章を貸与します。イヌの散歩を兼ねたわんわんパトロール隊に登録された方には、今ここに掲げているバッグを貸与しています。現在、自主防犯ボランティア団体は 63 団体、約 4,000 名の市民の方が登録

防犯ボランティア団体への支援

防犯ボランティア登録制度

甲府市安全安心ボランティア団体補助金制度

自主防犯ボランティア団体連絡協議会等の開催

ボランティア団体等への出前講座

防犯情報等の発信

地域安全ステーションの設置



しています。そして、甲府市安全安心ボランティア団体補助金制度です。この制度は、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、自主防犯活動を行うボランティア団体の育成や支援を行うとともに、継続的な活動を促進し、地域防犯力の向上・拡大を図ることを目的に平成 25 年 10 月に設けました。

制度について説明しますと、補助金が交付できる対象団体は、登録された 10 人以上の団体です。補助の内容は、防犯活動に使用するベストや帽子などの購入費、青パトの運行にかかる燃料費です。補助金の金額は上限を8万円として、物品購入費の2分の1を補助しています。また、燃料費の上限は3万円としています。

続いて、自主防犯ボランティア団体連絡協議会等の開催です。協議会は平成20年6月に設立、自主防犯ボランティア団体の情報交換を目的に、年1回の総会を開催しています。また、同時に自主防犯ボランティア団体に対する研修会を行っています。この研修会は、ボランティア団体のリーダーの育成を目的に行っていて、団体の活動の活性化や定着化を図るねらいがあります。本年は7月29日に総会と併せて実施しており、県警の生活安全課の職員による講演や、団体の活動事例発表などの内容で、約60名のリーダーの方が受講しています。

防犯ボランティア登録制度

- 甲府市市民活動補償制度
- 腕章の貸与(わんわんパトロールではバッグ貸与)63団体約4,000名の市民が登録(平成27年9月現在)

甲府市安全安心ボランティア団体補助金制度

- 補助金交付対象:10人以上で構成する団体
- 補助内容:防犯活動に使用する用品(ベスト や帽子など)、青パト運行に係る燃料費(上限3万円)
- 補助金額:上限8万円(物品購入費の2分の1)

自主防犯ボランティア団体連絡協議会等の開催

- 平成20年に設立
- 連絡協議会・リーダー研修会 の開催(年1回)



ボランティア団体等への出前講座

- 職員による出前講座を実施
- 平成26年度······21回 平成27年度(9月末)·····13回

防犯情報等の発信

- ホームページ、メールマガジン、広報誌
- 〇 防災行政無線

そして、ボランティア団体等への出前講座です。ボランティアの育成・活性化、市民への犯罪の情報提供等を目的として、あらゆる機会を活用し、職員による出前講座を実施しています。昨年度は21回、今年度は9月末現在で13回の出前講座を実施しており、好評をいただいています。

そして、防犯情報等の発信です。市民に絶えず情報を発信することにより、防犯意識の高揚を図っ

ています。その内容は、甲府市のホームページに市内犯罪情勢の掲載、同ホームページに防犯ボラン ティア団体の活動内容の紹介、甲府市メールマガジンを運用した防犯・防災情報の配信、市の広報誌

への地域防犯に関する記事の掲載、防災行政無線の活用などです。

続いて、地域安全ステーションの設置です。地域安全ステーションは皆さんもご承知のとおり、ボランティア団体のパトロールの出動拠点や、情報の発信拠点として重要な役割がありますので、その開設には力を入れているところです。

左側の写真は本年3月に、市内第1号となる甲府市 伊勢に開設した地域安全ステーションの開所式の様子

地域安全ステーションの設置

地域安全ステーション

- パトロールの出動拠点
- 情報の集約・発信拠点
- 自主防犯活動の参加拡大拠点





平成27年3月開所

山城地域安全ステーション 平成27年6月間所

です。ステーションは市が所有する悠遊館という名称の公民館を活用しています。右側の写真は、本年6月に市内で2番目に開設した山城地区地域安全ステーションの開所式の様子です。この場所も市の公民館を活用しています。

三つ目の項目は、犯罪防止に配慮した施設等の整備と防犯活動です。現在「放置自転車対策として 市営駐輪場の整備」「防犯カメラの設置・防犯街路灯の整備」「青色防犯パトロール活動」「小学校への 防犯ブザーの配布」の四つの施策に取り組んでいます。

放置自転車対策は、市営駐輪場の整備を行っています。乗り物盗の発生が多いことは先にも触れましたが、その対策の一環として、乗り物盗の発生件数が県内で一番多い甲府駅周辺の市営駐輪場を順次整備しています。平成25年9月に甲府市自転車等の放置の防止に関する条例を制定し、放置禁止区域の指定を行った上で、初めに甲府駅北口周辺の駐輪場の整備を推し進めました。続いて、本年6月には、甲府駅南口の西側にある駐輪場を大型地下駐輪場に建て替えて、運用を開始しています。

犯罪防止に配慮した施設等の整備 と防犯活動

放置自転車対策(市営駐輪場の整備)

防犯カメラの設置・防犯街路灯の整備

青色防犯パトロール活動

小学校への防犯ブザーの配布





この写真は運用開始時に、二輪車盗難防止街頭キャンペーンを実施した様子です。この駐輪場は、 収容台数約350台であったものを収容台数約900台に大型化し、監視員も1名常駐となっています。 さらに、来年の春以降は、甲府駅南口の東側にある駐輪場も整備して、収容台数約700台の最新の駐

放置自転車対策(市営駐輪場の整備)

- 甲府市自転車等の放置の防止に関する条例平成25年9月制定
- JR甲府駅周辺の市営駐輪場の整備





甲府駅南口西側駐輪場の運用開始に伴う 二輪車盗艇防止街頭キャンペーンの実施

輪場に生まれ変わる予定です。これらの整備事業により、 甲府駅周辺の乗り物盗が減少することが期待されてい ます。

次に、防犯カメラの設置、防犯街路灯の整備です。防犯カメラの設置ですが、平成 19 年以降、市内の三つの駅と地区 1 カ所に計 32 台の防犯カメラを設置していま

す。これらの防犯カメラは、モニターを警察の施設に設置していて、あらゆる防犯活動等に役立てています。そのほかに市の補助金を活用して、市の中心にある商店街に防犯カメラを 25 台設置しています。また本年度の予算で、市内の中学校 1 校に防犯カメラの設置が決定しており、今後は各学校施設への設置拡大が予想されています。

防犯街路灯の整備ですが、防犯と交通安全対策のために自治会が維持管理している街路灯に要する 経費、電気料などの補助を行っています。また、市内にある約1万8,000灯の街路灯を、平成26年か らの5カ年計画で全てLED化する予定となっています。平成26年には4,500灯を整備し、今年は8,000 灯を整備予定です。

次に青色防犯パトロール活動です。市では平成17年9月から警備業者に委託し、勤務員2名が乗車した白黒ツートンの青色防犯パトロールカー1台が、市内にある25の小学校を中心に巡回しています。さらに、活動を強化するため、平成24年9月から職員が危機管理課や道路河川課などの公用車両10台を運用し、青色防犯パトロールを実施しています。活動に従事する職員は、毎年青色防犯パトロール講習を受講し、各種事故防止に努めています。

次に、市内小学校への防犯ブザーの配布です。児童の通学途上の安全対策として、市内の小学校に防犯ブザーを配布しています。平成 17、18 年度で全ての児童への配布を行い、平成 19 年度以降は毎年、新入学児童に配布しています。

防犯カメラの設置・防犯街路灯の整備

防犯カメラの設置

- 市内3駅の駅前と地域1箇所に計32台設置
- 補助金を活用し、市の中心の商店街に計25台設置
- 本年度予算で、中学校1校に防犯カメラ設置予定 防犯街路灯の整備
- 自治会が維持管理する防犯街路灯の電気料助成
- 補助制度によるLED化の促進 市内にある約18,000灯を平成26年からの5年計画 でLED化へ

青色防犯パトロール活動

- 業者委託の青色防犯パトロール(平成17年9月~) 警備業者へ委託し、青色パトロールカー1台による 防犯パトロールを開始
- 職員による青色防犯パトロール(平成24年9月~) 公用車10台を青色防犯パトロールカーとして運用 し、防犯パトロールを開始

小学校への防犯ブザーの配布

- 平成17、18年度で市内全ての児童へ配布済み
- 平成19年度以降は、毎年、新入学児童に配布

活動効果

次に、活動の効果です。さまざまな安全・安心まちづくりへの取り組みによって、わずかずつですが、その効果が出てきています。各種支援や支援物品を活用した、見える活動により自主防犯ボランティア活動が活性化されるとともに、市民への浸透度も深まり、地域コミュニティの形成につながっています。

効果は、甲府市の刑法犯認知件数にも表れていまして、平成26年の刑法犯認知件数2,163件は、前年と比較して49件減少しています。中でも全体の8割を占め

活動効果

- 自主防犯ボランティア活動の活性化と市民への 浸透度が深まり、地域コミュニティの形成に繋がっ ている。
- 平成26年の刑法犯認知件数2,163件 (前年比-49件)平成26年の窃盗犯認知件数1,738件 (前年比-33件)
- 刑法犯認知件数がピーク時の半減 平成14年の認知件数4,763件
 - → 平成26年の認知件数2,163件(-2,600件)
- 本年の刑法犯認知件数も減少傾向

る窃盗犯は 1,738 件で、前年より 33 件減少しています。この平成 26 年の数字は、平成 14 年のピーク時の件数 4,763 件と比較して、半減以下となっています。減少傾向は今年に入っても続いていて、本年 9 月末現在の刑法犯認知件数は 1,587 件で、昨年よりもさらに 55 件減少していまして、窃盗犯も 1,260 件で、昨年より 61 件減少している状況です。

今後の課題

今後の課題です。一つ目は、自主防犯ボランティア団体構成員の高齢化対策です。近年、防犯ボランティア団体構成員の高齢化が進んでいますので、各地域への地域安全ステーションの設置推進や、補助金制度の周知を図るなどして、幅広い年齢層の方に防犯ボランティア活動への理解と参加を呼び掛けていきたいと考えています。

二つ目が、青色防犯パトロール隊の体制強化です。現在、自主防犯団体で青色防犯パトロール隊を編成している団体は、市内で3団体、登録台数は33台となってい

今後の課題

- 自主防犯ボランティア団体構成員の高齢化対策
- 青色防犯パトロール隊の体制強化
- 電話詐欺(山梨県警が独自に特殊詐欺を電話 詐欺に呼称変更)対策の推進

ます。自主防犯団体の青パトをさらに増やして体制を強化することは、安全・安心なまちづくりを目指す市として、大変重要な課題であると考えています。今後は、青色防犯パトロール隊の倍増を目標に、各団体に隊の設立の呼び掛け、補助金制度の周知等を図っていきたいと考えています。

三つ目の課題は、電話詐欺対策の推進です。「電話詐欺」とは、山梨県警がオレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺の名称を分かりやすくしたものです。本年9月末の山梨県内の電話詐欺の発生件数は65件で、昨年の同期比で12件増加しています。また、被害額も1億9,000万円を超えていて、非常に憂慮される事態となっています。

市として、現在行っている電話詐欺撲滅に向けた取り組みは、防災行政無線や広報誌等の活用による広報活動、出前講座等による呼び掛けが主なものですが、この対策だけでは発生を抑え込むことがなかなかできません。そのため、本年度に入りまして、新たな抑止対策として、市内居住の高齢者宅の電話機に、迷惑電話を自動で着信拒否する装置を取り付ける事業に取り組んでいまして、現在、そ

の効果を図るための社会実験を行う準備を進めているところです。

終わりに、甲府盆地の夜景と遠くに望む世界遺産の 富士山です。ここに見える一つ一つの光にはそれぞれ の家族があり、そこには夢があり、希望があります。 今後も冒頭の題である「笑顔あふれるまち創りを市民 とともに」を合言葉に、この一つ一つの光の安全・安 心を守り続けていけるよう、全力で頑張っていきたい と思います。ご清聴ありがとうございました。

